



(右&中) クリスマスとお正月リース。季節感は生活にメリハリを与えます。(左) 葉の動きを活かし、季節の花を添えます。花はシーズンで替えましょう。

志村 みか：ガーデンデザイナー

幼少期から生け花、洋花アレンジに触れる環境に育ち、建築を学びランドスケープ、大型建築のエクステリアやガーデンデザインを学び渡英。本場のイングリッシュガーデンとフラワーアレンジメントを約4年に渡り学ぶ。帰国後は都内でテレビ番組の装飾デザイン、ホテルブライダルの装花関連に従事。現在は独立し、建築からエクステリア、ガーデンデザイン、植物を生かしたアレンジ教室を開催。育てて愛でる、庭と植物のある癒やされるライフスタイルを発信している。

leNiwa 工房 株式会社
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢 4-5-3
TEL：0466-22-9221
HP：http://ieniwa.jp/



(右)趣向を凝らして、まな板を額装にした多肉アート。(中)グリーンボトルの中に小さなサファリを表現します。

(左) 火を使わず、精油を混ぜた香り豊かなワックスバー。

フィトンチッド——「植物から出る揮発成分は殺菌作用がある」。この植物の不思議な力を活かした生活することによって、ストレスやアレルギーを緩和したり、免疫力を高めたり、健康だけでなく心理的にも癒しや安らぎを与えてくれます。さらに消臭・除菌・抗菌・抗酸化などの効果があるともいわれています。

中でも、観葉植物には日常管理が容易なものが多く、室内でも育てやすい。また赤い花のドライフラワーは厄除け、黄色は女性の魅力が上がるともいわれています。小さくてもいいので、料理のようにひと手間かけて飾ってあげれば、さらに元氣や優しい幸福感がいただけます。



—— leNiwa 工房：志村 みか
取材・レポート：『めづるくらし』研究会 編集部



(右) 平坦な壁に花を飾る。瓶に入れて吊るしただけで、素敵な壁面インテリアに。

(上) ウォールグリーンで緑の絵画を演出。紅茶の木箱や市販の木枠を活用して緑を挿し込んで。(左) ボトルグリーンでギフトボックス感覚。家にあるキッチンボトルにドライや多肉で世界を創る。

